

まつどの文化度を高め、文化と教養のまちをつくる

まつど3万年の歴史文化資源があるまち

～200か所を超える市内の遺跡と千葉県有数の重要文化財宝庫

- 縄文時代 県最高峰の幸田貝塚、出土品が**重要文化財**として登録。150か所を超える縄文遺跡の宝庫
- 古墳時代 現存する小金・河原塚の二つの古墳と文化財
- 鎌倉・室町時代 本土寺・万満寺所有の**3点の重要文化財**。東漸寺・本福寺所有の県・市指定文化財
- 戦国時代 東葛ほぼ全てを治めていた高城氏の小金城と根本内城の二つの城跡公園と多くの古文書
- 江戸時代 **国内で唯一**徳川将軍が4回御鹿狩を松飛台の地で実施。松戸本陣跡と小金玉屋の二つの宿場跡と浮世絵、絵図、歴史資料の宝庫
- 幕末・明治時代 水戸藩主徳川昭武と戸定邸と庭園が**重要文化財と名勝**に登録
- 昭和時代 **日本で初めて計画**され、日本の戦後の生活革新の象徴となった常盤平団地
- 伝統芸能・祭り 市内3か所の三匹獅子舞、万作踊りなどを市民が継承

質の高い芸術資源があるまち

- 音楽のまち松戸として、学校吹奏楽、合唱が**全国レベル**の活躍
- 一流の音楽公演や演劇、歌舞伎等舞台芸術の鑑賞機会
- 市ゆかりの美術作品の紹介
 - ・かつて松戸にあった千葉大工学部とその前身である東京高等工芸学校に関するデザイン資料
 - ・松戸に住んだ作家の作品、資料



市民の芸術・学習活動があるまち

- **市内20か所の図書館**（本館・分館）があり、地域で自主的に学習
- **発明クラブやロボット大会などの子どもたちが活躍する場**がある
- **500を超える社会教育団体**による多様な活動の場として、市民文化祭、美術展、音楽祭を開催
- 生涯学習大学や市民大学をはじめとする学習の場がある



松戸の文化を守り、次の世代につなげる拠点

文化の拠点

博物館／戸定歴史館／文化会館

- 地域の歴史を学び、ふるさと松戸に愛着を持つ市民を育てる
- 学校と連携し、地域の歴史・文化を学ぶ機会を提供（博学連携プログラム）
- 観光拠点として、松戸のさらなる魅力を発信する



知の拠点

図書館／公民館他（生涯学習施設）

- 図書館ネットワーク（本館・地域館・分館・公民館・青少年会館など）を推進
- 子どもから大人までの自由な学びや活動を支える
- 学校図書館と連携し、子どもたちの主体的な学びを支える



「松戸の都市ブランドの価値創出」に向けて

- ▶ 子ども・子育て世代、若者などの新たなターゲットに松戸の歴史的価値の魅力を伝え、松戸に愛着と誇りを持つ市民を増やす
- ▶ 市民の文化・芸術・学習活動を支え、生きがいや幸福感を増やすとともに、国際的視野で活躍する市民を増やす
- ▶ 全国、世界に松戸の文化的価値の魅力を大きく発信し、選ばれるまちとなる

文化施設・社会教育施設の連携による、市民の学びが相乗的に深まるための取組み

- 図書館・博物館企画展と連動した公民館の講座
- 図書館・公民館の一体化による学び支援
- 博物館と戸定歴史館の連携企画展の開催 など

いろいろな施設や団体との連携による、松戸の自然・歴史・芸術の魅力を大きく発信

- 21世紀の森と広場の周辺施設が文化交流拠点として連携
- 戸定邸・庭園を活用した芸術活動との連携
- 観光拠点としての魅力向上に向けた観光協会との連携 など

インターネットツールの活用による、松戸の文化的魅力を若い世代・世界に向けて発信

- 展示解説、講座、講演会等の動画による配信
- 新たなファンを獲得に向けたSNS発信
- 子どもに向けた配信（GIGAスクール） など